

## 2. 金融や経済のしくみ

### 「起業家をめざすなら 夢をかなえる足がかり」

－「起業」シミュレーションから金融と企業の学習を深める－

神奈川県立海老名高等学校教諭 梶ヶ谷 穂

事例の 位置付け	実 施 学 年	第 1 学年
	教 科 等	現代社会
	単 元 名	現代の経済と国民福祉
		☆政治・経済 ☆総合的な学習の時間
		①現代の企業、②金融機関の役割

#### ね ら い

- 1 日常の消費・経済生活のなかで、どのような商品ニーズやビジネスチャンスがあるかを考えさせ、具体的に「起業」という課題設定をすることにより、企業の形態の特色や組織、機能について理解させる。
- 2 「起業」をシミュレーションすることにより、経済主体である企業の資金調達（資本金や運転資金など）をはじめ、その機能や組織、経営方針や社会的責任などについて考察させる。
- 3 金融に関わる消費者として、株式や社債の購入を通して「金融」の果たす役割や、金融における「自己責任」を理解させるとともにその課題を考えさせる。

#### 展開の特色

- 1 公民科の「現代社会」、「政治経済」の両科目の「金融」と「企業」の学習内容を基礎として展開する。
- 2 個々の生徒の興味・関心による主体的な「起業」についての課題追究学習を基礎に、グループ学習による「起業」のシミュレーション学習に発展させる。この学習展開により、「企業」と「金融」の両学習分野の理解と深化を図るとともに、アントレプレナーシップ（起業家精神）教育へのアプローチとしたい。
- 3 企業経営者として重視する経営方針（環境配慮、コーポレートガバナンス、ディスクロージャー、コンプライアンス、CSR〈社会的責任〉など）を今日的な視点から考えさせる。
- 4 金融に関わる消費者としてお金のもつ価値を考え、限られた資金で自らの選択によってどのような金融商品を購入するか、またどのような事柄を重視して企業に投資を行うのか（例えば社会的責任投資〈SRI〉など）という、金銭・金融教育の観点からも基礎的な授業を展開させる。

#### 本時の展開

- 本時の目標
- 1 個人の起業アイデアをもとに、新会社の事業コンセプトをグループで検討し、そのまとめとして創業する新会社の定款を作成し、登記の準備とする。〔法的側面からのアプローチ〕

	学 習 内 容	学 習 活 動
導 入	① グループ編成	○生徒の各人の興味・関心、さらに事業形態等をベースに、5～6人を標準とするグループを編成する。
展 開	② 「起業」課題追究学習 ① 起業する新会社のアウトラインの作成 ー自分たちの会社をつくってみよう!ー そして経営者になろう!	① アイディアを製品やサービスに具体化し、事業（ビジネス）を考える。グループごとにリーダー（発起人役・社長役）を選び、アイディアを練ってコンセプトに高める。

#### 構 成

資料 1 (→p.219)

- 第 1 次 現代の企業……………(2 時間)
- 第 2 次 金融の役割、金融の自由化と国際化……………(4 時間)
- 第 3 次 「起業家をめざすなら」課題設定と課題発表の概要説明……………(1 時間)
- 〔起業〕課題追究学習・〔起業〕課題発表(事業説明・評価会)…(6 時間)〈本時〉



#### 事前の準備





- ・〔起業〕課題追究学習の準備として、起業（企業）に関する新聞記事をはじめとする各種資料を各自が事前に用意しておく。

#### 次時の予告・用意

- ・「自立した消費者への道」を学習することを予告、特にカード社会、キャッシュレス社会におけるさまざまな問題点や課題を、企業・金融との関わりで学習することを示唆する。

- 2 起業（案）・事業案（定款）を、定款（案）を中心に事業説明会という形で発表し、質疑・応答後に新会社（事業）の評価を他のグループの人から受ける。

教師の支援、指導上の留意点	資 料
・グループの人数は事業形態により2～3人（1人の個人企業でも可）とする。	
➡どのような事業の会社を設立すれば収益が上がるかを考えさせ、ビジネスアイディア形成のために「KJ法」なども活用する。	・「起業」課題追究学習の導入として『これであなたもひとり立ち』（ワーク14）を活用する。また、(起業ワークシート1)を利用。  <b>ワークシート NO.1</b> (→ p.221) ・会社についての各種資料。  資料 2, 3, 5 (→ p.220)
➡「思いつき」の事業から、少しでもビジネスコンセプトとして完成度の高い事業実現を図る。	
➡生徒の話し合いが行き詰ったら、円滑な検討ができるようにアドバイスをするなどの支援をする。	


教師の支援、指導上の留意点	資 料
<p>→企業（会社）ではなく、個人企業やNPOを立ち上げたいという希望もあるので留意する。</p> <p>→取締役や代表権とは何かなどを説明する。</p> <p>→特例法により「1円起業」が可能になり、資本金による創業規制が事実上撤廃された。さらに法改正により有限会社が廃止され株式会社へ一本化される方向であることも理解させる。</p> <p>→コーポレートガバナンス、ディスクロージャーなどについて確認させる。</p> <p>→企業が利潤追求だけでなく、経済発展など多くの社会的責任を負っていることを理解させる。</p> <p>→どのような会社に育てたいか、生徒に「夢」を想起させる。</p> <p>→登記制度の概略を説明（但し、登記法上の詳細な規定には言及しない）。</p> <p>→定款とは何か（再確認）。 定款モデル書式等を配布。</p> <p>→定款の作成において、会社の商号には全国的に有名な商号は使用禁止であること等を説明する（但し、今回はあまりこだわらなくてもよいことにする）。</p> <p>→「発起人」、「社員」、「所在地」と「住所」の違いなどを説明する。</p> <p>→説得力ある発表・プレゼンテーションができるように指導する。</p> <p>→発表では、グループの全てのメンバーが何らかの役割を担うようにする。また、要点を得た簡潔な発表を工夫させる。</p> <p>→活発な質問や意見が出るように配慮する。質疑・応答については、関心の観点からも評価する。</p> <p>→評価表の記述内容について、「適切な評価をしている」か、あるいは「適切なアドバイス」が記入されているかを評価・採点する。</p>	<p>・この課題追究学習においては、『高校生のためのファイナンス入門』<sup>*</sup>と、各グループに配布した『会社四季報』や、各企業が発行している環境・社会報告書、さらにディスクロージャー誌も参考資料として活用。</p> <p>・ 資料4（→ p.220）</p> <p>・『金融商品なんでも百科』→特に社債と株式などの説明に利用。</p> <p>・ 資料6（→ p.220）</p> <p>・各グループが発表・プレゼンテーションをするための「定款（案）」のシートを使用。 <b>ワークシート NO.2</b>（→ p.222）</p> <p>・「起業・プレゼンテーションに関する評価表」により評価・投票（投資）する。 <b>ワークシート NO.3</b>（→ p.223）</p>

※生徒の評価（投票・投資）は、各会社について、プラス評価数からマイナス評価数を引いた得票数を、各会社に対する生徒の評価得点とする。

※生徒の評価（投票・投資）は、各会社について、プラス評価数からマイナス評価数を引いた得票数を、各会社に対する生徒の評価得点とする。



	学 習 内 容	学 習 活 動
まとめ	5「起業」シミュレーション学習のポイントのまとめ	① 活発で旺盛な起業マインド（開業の増加）が経済活動に果たす意義を考察する。 ② 『起業』学習の「自己評価表」に回答する。

教師の支援、指導上の留意点	資 料
➡「起業」における最低資本金制度の撤廃などが、経済社会における起業マインドの上昇に寄与することなどを認識させる。  ※時間に余裕があれば、授業の感想を話させる。	・「自己評価表」を使用する。  <b>ワークシート</b> NO.4 (→ p.223)

評価の観点

- 1 「起業」課題追究学習に、積極的に取り組むことができたか（与えられた課題「起業」を、自ら考えて参加することができたか）。「起業」の発表（事業説明会）において、投資家（他のグループの人）に意欲的に説明しようとしたか。 【関心・意欲・態度】
- 2 「起業」のシミュレーションの学習過程において、授業で学習した企業・金融分野の内容がきちんと理解され把握しているかどうか。 【知識・理解】  
また、生きていくための糧である「お金」の価値を「起業」の学習過程で把握することができたか。 【思考・判断】
- 3 企業の資金調達に関連して、間接金融・直接金融を理解・把握できたか。 【知識・理解】  
また「金融に関わる消費者」の一人として、「自己責任」や各種金融商品の特徴（メリット・デメリット）等について考察することができたか。 【思考・判断】

参考資料

- ☆ 金融広報中央委員会『これであなともひとり立ち』, 2003年
- ☆ 金融広報中央委員会『これであなともひとり立ち 指導書』, 2004年
- ☆ 金融広報中央委員会『高校生のためのファイナンス入門』, 2001年
- ☆ 金融広報中央委員会『金融商品なんでも百科』
- ☆ 『会社四季報』 東洋経済新報社
- ☆ 各社の環境・社会報告書とディスクロージャー誌
- ☆ こどもの疑問解決委員会編『こどもに教えるお金のしくみ』 DAI-X出版, 2002年
- ☆ 北村圧吾・小林秀星編著『はじめての起業成功ガイド』 日本実業出版社, 2001年
- ☆ ムクダス編集部編『図解 超かんたん会社設立の段取り』 中経出版, 2002年
- ☆ 池上彰『経済のことよくわからないまま社会人になってしまった人へ』 海竜社, 2004年
- ☆ 全国公民科・社会科教育研究会編『高等学校公民科 指導と評価』 清水書院, 2003年
- ☆ 大橋周治『1円起業 成功の7つのポイント』 祥伝社, 2004年
- ☆ 山崎信義『資本金1円でできる株式会社・有限会社のつくり方』 明日香出版社, 2003年
- ☆ 瀬川博美『あなたの会社をつくりなさい! 設立から事業成功までの18の鉄則』 PHP研究所, 2001年
- ☆ 河野順一『株式会社をつくるならこの1冊』 自由国民社, 2004年
- ☆ 小山田毅『図解 小さい会社の設立と運営』 西東社, 1999年
- ☆ 岡本亨二『CSR入門「企業の社会的責任とは何か」』 日経文庫・日本経済新聞社, 2004年
- ☆ 穴戸善一『ベーシック会社法入門』〈新版〉 日経文庫・日本経済新聞社, 2000年
- ☆ 武長脩行著, こどもくらぶ編『中学生・高校生のための金銭感覚養成講座』 同友館, 2003年
- ☆ 『自分の会社の数字2』(別冊宝島745) 宝島社, 2003年
- ☆ 柴田和史『ビジュアル 株式会社の基本 第2版』 日経文庫・日本経済新聞社, 2003年
- ☆ 池上彰『イラスト図解 経済ニュース 虎の巻』 講談社, 2003年
- ☆ テレビ東京『謎解! 若者の経世済民』(ビデオ)
- ☆ 雇用・能力開発機構「起業家育成ツアー」(<http://www.enokai.ehdo.go.jp/j/tour/venture2003/index.html>)



資料 1 起業に関する金融・経済

(授業概要)→『これであなともひとり立ち』(No. 14)

「企業と金融、そして起業へ!」ー自己責任時代の「直接金融」を考えるー







ワークシート No.2

起業 「会社」を作ろう

課題 「定款」を作成してみよう（株式会社用、絶対的記載事項を主とする）

第1章 総則

(商号)  
第1条 \_\_\_\_\_と称する。

(目的)  
第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

1. \_\_\_\_\_

2. \_\_\_\_\_

3. \_\_\_\_\_

(本店の所在地)  
第3条 当社は、本店を \_\_\_\_\_におく。

(公告の方法)  
第4条 当社の公告は、官報に掲載する。

第2章 株式

(発行する株式の総数)  
第5条 当社の株式の総数は、 \_\_\_\_\_株とする。

(株券の種類)  
第6条 当社の発行する株券の種類は、 \_\_\_\_\_株券、 \_\_\_\_\_株券、 \_\_\_\_\_株券、 \_\_\_\_\_株券、 \_\_\_\_\_株券の \_\_\_\_\_種類とする。

☛発行する株式総数の4分の1以上、1株5万円の場合は200株以上必要。

(株式の譲渡制限) → (相対的記載事項)  
第7条 当社の株式を譲渡するには、取締役会の承認を受けなければならない。

以上、 \_\_\_\_\_株式会社を設立するため、この定款を定め、発起人がこれに記名押印する。

平成 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

発起人 住所・氏名 \_\_\_\_\_ 印

発起人 住所・氏名 \_\_\_\_\_ 印

発起人 住所・氏名 \_\_\_\_\_ 印

ワークシート No.3

起業 プレゼンテーションに関する評価表

(生徒 起業・ワークシートB )

起業・プレゼンテーションに関する評価表

起業のプレゼンテーションで、投資したい(興味・関心のある)会社とアドバイスしたい会社を合計3つあげその理由等を記入して下さい。

起業をしないで「投資」のみの人は下の条線を○で囲むこと。

投資したい(興味・関心のある)会社(1)	
投資したい(興味・関心のある)会社(2)	
投資したい(興味・関心のある)会社(3)	
アドバイスしたい会社(1)	
アドバイスしたい会社(2)	
アドバイスしたい会社(3)	

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_

memo・注



ワークシート No.4

『起業』学習の取り組みと発表に関する自己評価表

以下の各質問について、該当するものに○印をつけない。

1. 『起業』学習を積極的に取り組むことができましたか。

ア 積極的に取り組むことができた。

イ どちらかといえば積極的に取り組むことができた。

ウ どちらかといえば積極的に取り組むことができなかった。

エ 積極的に取り組むことができなかった。

2. 『起業』学習で一番がんばったことは何ですか？

\_\_\_\_\_

3. 『起業』グループ学習でお互いに協力して活動できましたか(個人企業は除く)。

ア 協力して活動することができた。

イ どちらかといえば協力して活動することができた。

ウ どちらかといえば協力して活動することができなかった。

エ 協力して活動することができなかった。

4. 『起業』学習の成果としての、「発表」は満足いくものでしたか。

ア 満足できた。

イ どちらかといえば満足できた。

ウ どちらかといえば満足できなかった。

エ 満足できなかった。

5. 『起業』学習は、全体として満足でしたか。

ア 満足できた。

イ どちらかといえば満足できた。

ウ どちらかといえば満足できなかった。

エ 満足できなかった。

6. 起業学習の授業への要望があれば・・・

\_\_\_\_\_

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_